

## 徳島県播磨灘沿岸で発見されたサケガシラ属魚類

環境増養殖担当 岡本裕太

Key word; テンガイハタ、サケガシラ、播磨灘、深海魚

### はじめに

徳島県播磨灘沿岸において、2023 年 5 月に連続して発見されたサケガシラ属のテンガイハタ (*Trachipterus trachipterus*(Gmelin, 1789)) と思われる珍しい深海魚をご紹介します。

### 発見 1

2023 年 5 月 12 日に播磨灘沿岸鳴門市亀浦港付近で航行中の船から「見たことがない魚がふらふら漂っている。」と連絡を受けました。画像を送ってもらい確認したところ、確かに見たことがない魚でした。その時は、まだ生きており、タチウオのような銀白色で目が大きく、リュウグウノツカイのような赤い背鰭と尾鰭が特徴的でした（写真 1）。



写真 1. 亀浦港付近で捕獲されたのサケガシラ属魚類

その後、徳島県立博物館へ寄贈し標本作製してもらいました（写真 2）。写真からの推定にはなりますが、全長約 670mm、尾叉長約 573mm でした。学芸員さんによると、このような深海魚は、捕獲時に体が傷んでいる事が多いため、今回の非常に綺麗な状態での標本は貴重ということでした。

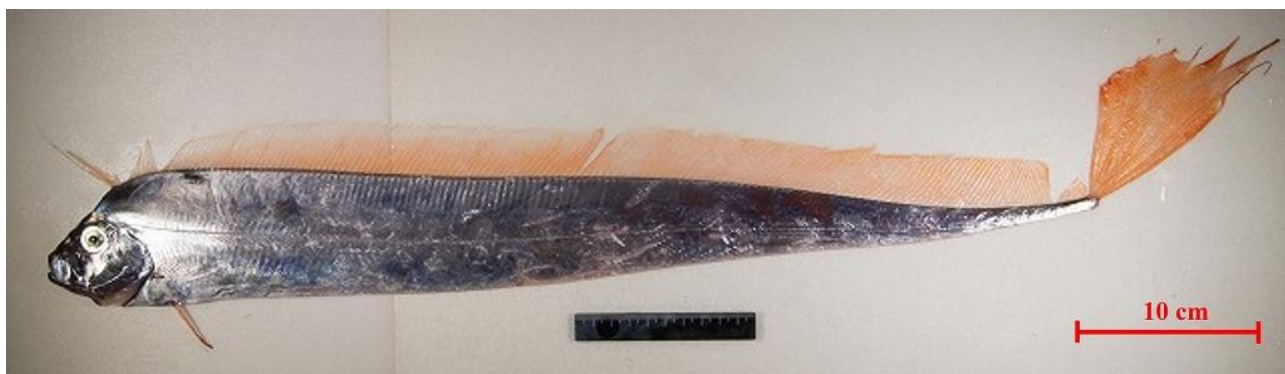


写真 2. サケガシラ属魚類の標本(徳島県立博物館提供)

## 発見2

発見1から2日後の2023年5月14日、鳴門市北灘町粟田沖で定置網漁業を営んでいる漁業者から「40年以上、定置網をやっているが見たことがない魚が入った。」と連絡をもらい、その魚を受け取りました。その時には、すでに死亡しており、鱗がない状態でしたが、大きな目や口の形、背鰭付近の黒い斑点の位置が2日前の魚と非常に似ていました(写真3)。全長660mm、尾叉長588mm、体表はツルツルで弾力のある質感、前側へ長く伸びる口が特徴的でした。

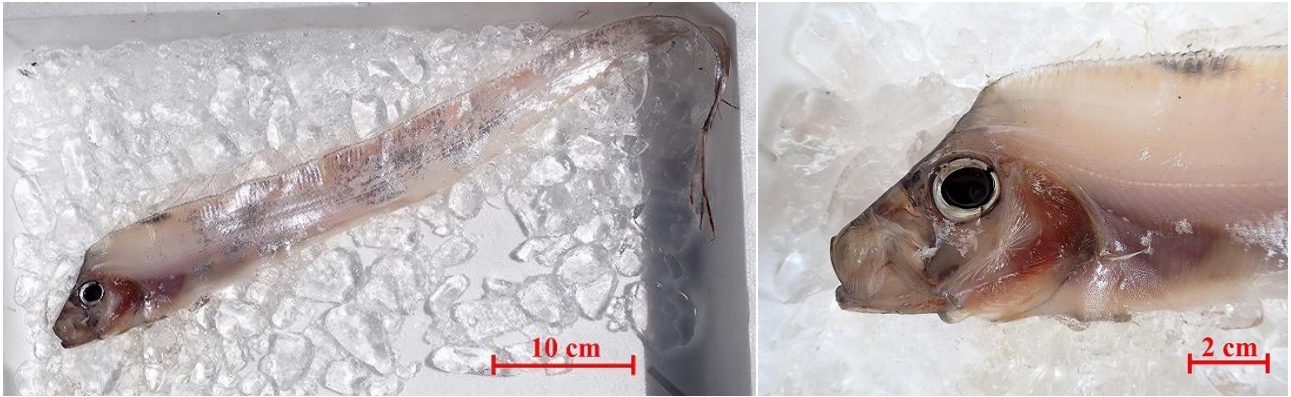


写真3. 北灘町沿岸の定置網に入網したサケガシラ属魚類(2023年5月14日)

## 発見3

発見2からさらに3日後の2023年5月17日、先ほどの漁業者から「また同じ魚が採れた。」と連絡をもらいました。捕獲方法、場所ともに前回と同じということでした。実物は確認できませんでしたが、「リュウグウノツカイのような見た目で見ると背鰭に赤みがあった、サイズ感は前回と同じくらいだった。」ということで推測ですが、発見1、2と同様の魚と思われました。

## この魚の正体は

今回、連続して発見された魚について水産研究課では、アカマンボウ目フリソデ科サケガシラ属のテンガイハタまたはサケガシラのどちらかではないかということまでしか分かりませんでした。そこで、元魚類学会の会長であり、国内外の様々な魚種の同定をしている神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能宏博士に魚種の同定を依頼しました。同定の結果、テンガイハタではないかということでした。

この魚の生息域は、西地中海、南アフリカ、ニュージーランド、チリとされており、日本では北海道から土佐湾までの太平洋沿岸、日本海に分布していると言われています。また、分布している水深帯は100m~600mと言われています。そして、躯幹部から尾部にかけて体高は徐々に低くなり、タチウオに似た銀白色で、背鰭は赤いという特徴があり、尾鰭が水平になる斜めの姿勢で体を真っ直ぐに伸ばし、背鰭を波打たせて前方へ遊泳します。近縁種には、サケガシラ(*Trachipterus ishikawae*)という種があり、テンガイハタはサケガシラの稚魚期に相当する可能性が高いものの分類学的に検討が必要とされている謎が多い魚のようです(中坊 2018)。

## これまでの報告事例

参考までに全国各地(徳島県を含む)で過去に発見報告があったテンガイハタやサケガシラに関する報告をいくつか紹介します。

テンガイハタ(*Trachipterus trachipterus*)

- 1999年 9月 徳島県阿南市伊島水道入り口のタチ網で漁獲
- 2010年 1月 鳥取県境港市栄町の境水道で釣り人が捕獲
- 2019年 4月 香川県東かがわ市引田沖の定置網で漁獲

### サケガシラ(*Trachipterus ishikawae*)

- ・ 2008年 4月 和歌山県白浜町に漂着
- ・ 2008年 11月 北海道余市の定置網で漁獲
- ・ 2011年 7月 東京都大島波浮港沖の底釣で漁獲
- ・ 2014年 3月 新潟県長岡市寺泊沖のごち網で漁獲

ここで紹介した発見報告はごく一部ですが、各地でテンガイハタやサケガシラが発見例があることが分かります。しかし、今回のように徳島県播磨灘沿岸で短期間に連続して3個体発見されたことは、非常に珍しい現象だと思われます。

### おわりに

漁獲サンプルを提供くださった北灘漁業協同組合の松下有宏氏、標本写真を提供いただいた徳島県立博物館の井藤大樹博士、魚種を同定いただいた神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能宏博士にこの場を借りて御礼申し上げます。

### 参考文献

徳島県立博物館. 「館蔵品紹介 テンガイハタ 不思議な魚、紀伊水道に出現」, 博物館ニュース, 2000;38:6

新稲一仁・久保田信. 「和歌山県白浜町の海岸に漂着したサケガシラ(フリソデウオ科)の最近の記録」, 南紀生物 2008,50(2):252-252

地方独立行政法人北海道立総合研究機構. “珍客来訪? -サケガシラが漁獲されました-”. 北海道.

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/j12s2200000007mm.html>, (アクセス日 2023年8月25日)

鳥取県水産試験場. “カニ妖怪のゲゲゲ通信 テンガイハタ”. 島根県.

<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/433018.htm>, (アクセス日 2023年8月25日)

東京都島しょ農林水産総合センター. “珍魚採集報告第114号 サケガシラ”. 東京都島しょ農林総合センター.

<https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/archive/27,15173,55,228.html>, (アクセス日 2023年8月25日)

新潟県水産海洋研究所. “水産・研究情報「持ち込まれた魚(平成26年3月19日)サケガシラ」”. 新潟県. 2019-09-02.

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/suisan-kenkyu/mochikomi140319.html>, (アクセス日 2023年8月25日)

中坊徹次. 「小学館の図鑑Z 日本魚類館」(中坊徹次編)小学館, 東京. 2018; 154-155.

香川県水産試験場. “天蓋羽太(テンガイハタ)、香川県に出現”. 香川県. 2019-07-09.

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/19778/tp068tengaihata.pdf>, (アクセス日 2023年8月25日)

Fish Base. <https://fishbase.mnhn.fr/summary/1777>, (アクセス日 2023年9月13日)